

樽が橋エリア 周辺整備プロジェクト

<事業主体>

胎内市

<提案>

胎内市観光協会・企画部会 + TSP [Tainai Step-up Project]

基本コンセプト

昨年4月にオープンした観光交流センターと近隣の博が橋遊園やクアハウスなど、等の既存施設を有機的に結びつけ、果が実施する河川公園整備事業と連携して、胎内川を臨み自然に接し、子どもからお年寄りまで利用できる、憩いの場として活用されるよう新たな機能を持たせた施設が構想エリアを構築するためのブランドデザインを策定した。

基本的には市内内外の日帰り観光客向けに手頃な料金で家族一緒に楽しめる動物園・遊園地として遊覧内容も含めて整備していくが、地元産の農産物やお菓子・おみやげ品等を販売する売店や本格的米粉料理を提供できるレストラン・畳台村等も視野に入れて、道の駅としての機能充実を図っていくこととしている。

この基本構想策定にあたっては、胎内市観光協会・TSP (Tainai Step-up Project) から提案いただいた構想を参考に、事業主体である胎内市で最終決定した。

今後、更なる基本計画づくりに向けて次項の検討・修正を加えながら実施準備を進めます。

1. 計画の基本設定

- 誘致目標(当該地域周辺及び主要都市の人口や趣向分析等)
- 誘致目標の可能性(目標設定と可能性の検討)
- 地域資源活用実働の基本スケジュールの作成
(実施化への段階的日程)

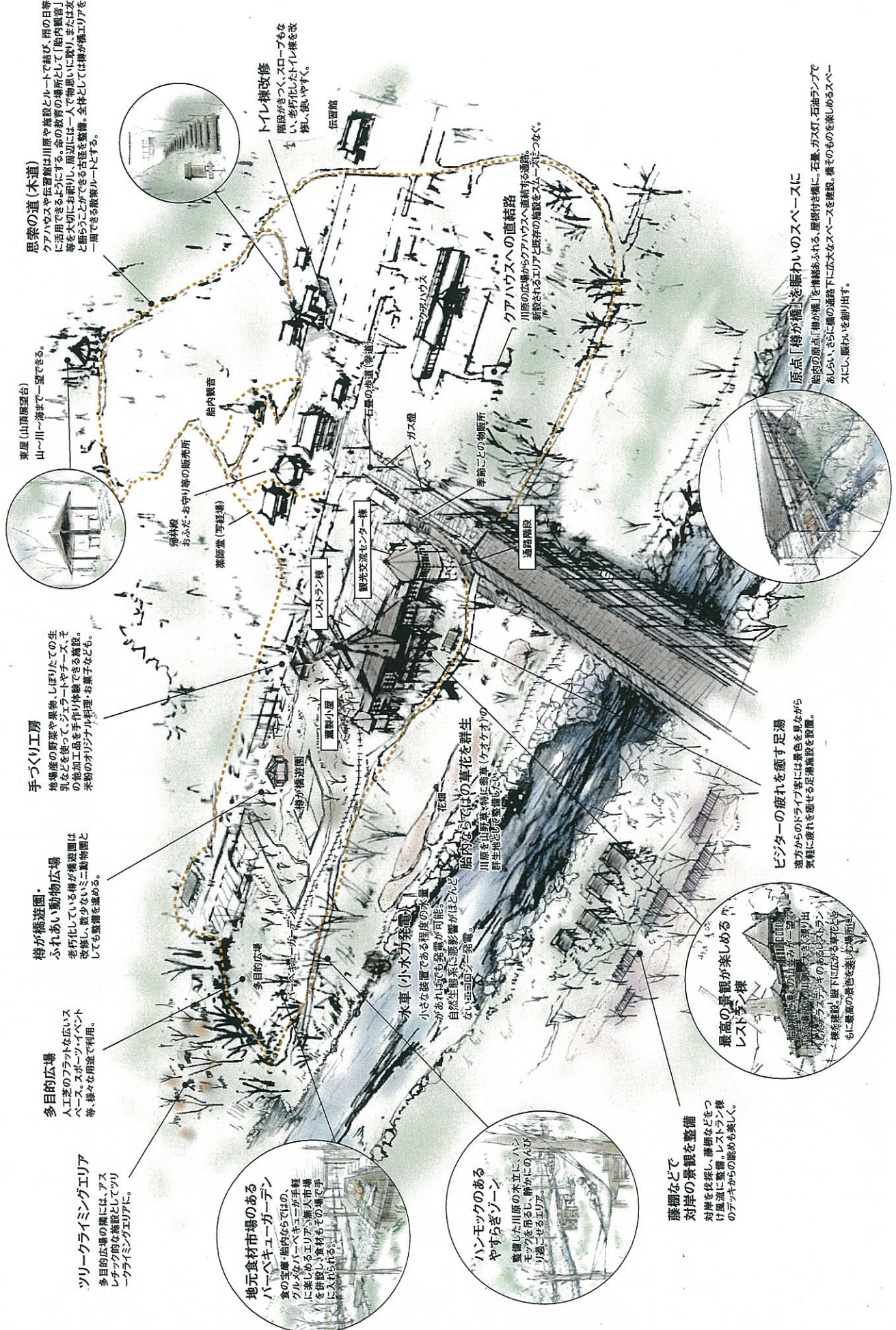
2. 基本マスタープランの作成

- 基本構想に基づく計画の総合方針
- 施設計画・平面計画(施設計画の詳細と平面プラン)
- 営業計画(具体的な営業戦略)
- 販路促進計画(キャンペーンを含めたPR)
- 資金計画・投資計画(ハード/地域資源活用の投資計画の基本)
- 運営計画(ソフト/資源活用実働化の運営計画の基本)
- 収支計画(投資対効果などの収支バランス)

3. 実施計画書の策定

実行予算の配分・詳細な実施プラン………具体的なスケジュール・
事業内容 等記載したプランの作成

【将来展望】 樽が橋エリア整備プロジェクト グランドデザイン



思索の道(木道)
 クアハウスや伝習館は川原や橋脚とルートで結び、雨の日等に活用できるようにする。各の設置の場所として「胎内観音」等を大切に再現し、周辺には一人で物思いに耽り、または友と語りながら過ごせる古座を整備。全体としては樽が橋エリアを一周できる散策ルートとする。

東麓(山頂展望台)
 山〜川〜海まで一望できる。

手づくり工房
 樽産の野菜や果物、しぼりたての生乳などを使って、ジェラートやチーズ、その他加工品を手作り体験できる施設。米粉のオリジナル料理、お菓子なども。

樽が橋遊園
 心れあひ動物広場
 老朽化している樽が橋遊園は改修し、数少ないミニ動物園としても整備を重ぬる。

多目的広場
 人工芝のフラットな広いスペース。スポーツイベント等、様々な用途で利用。

ツリークライミングエリア
 多目的広場の隣には、アスレチック的な施設としてツリークライミングエリアを。

トイレ模改修
 階段がつく、スロープもなしい、老朽化したトイレ模を改修し、使いやすく。

胎内観音
 胎内観音
 おふだ、お守り等の販売所

観光交流センター
 観光交流センター

水車(小水力発電)
 小さな装置である程度の水量があればいつでも発電が可能。自然生態系に影響がほとんどない仕組みを築く。

胎内ならではの草花を群生
 川原と山頂を結ぶトンネル(クオオケノ)の群生地として整備したい。

ハンモックのあるやすらぎゾーン
 整備した川原の木立に、ハンモックを吊るし、静かにのんびり過ごせるエリア。

地元食材市場のあるハベキエーガーデン
 食の宝庫・胎内ならではの、クールのハベキエーが手軽に楽しめるエリア。地元市場を模した食材もその場で手に入れられる。

クアハウスへの直結路
 川原の広場からクアハウスへ直結する通路。新設されるエリアと既存の施設をスムーズにつなぐ。

ガス殿
 ガス殿

季節ごとの物販所
 季節ごとの物販所

道路階段
 道路階段

レストラン
 レストラン

レストラン
 レストラン

レストラン
 レストラン

樽が橋
 樽が橋

樽が橋
 樽が橋

樽が橋
 樽が橋

樽が橋
 樽が橋

樽が橋
 樽が橋

樽が橋
 樽が橋

樽が橋
 樽が橋

樽が橋
 樽が橋

樽が橋
 樽が橋

樽が橋
 樽が橋

樽が橋
 樽が橋

樽が橋
 樽が橋

樽が橋
 樽が橋

樽が橋
 樽が橋

樽が橋
 樽が橋

樽が橋
 樽が橋

樽が橋
 樽が橋

樽が橋
 樽が橋

樽が橋
 樽が橋

樽が橋
 樽が橋

樽が橋
 樽が橋

樽が橋
 樽が橋

樽が橋
 樽が橋

樽が橋
 樽が橋

樽が橋
 樽が橋

樽が橋
 樽が橋

樽が橋
 樽が橋

樽が橋
 樽が橋

樽が橋
 樽が橋

樽が橋
 樽が橋

樽が橋
 樽が橋

樽が橋
 樽が橋

樽が橋
 樽が橋

樽が橋
 樽が橋

樽が橋
 樽が橋

樽が橋
 樽が橋

樽が橋
 樽が橋

樽が橋
 樽が橋

樽が橋
 樽が橋

樽が橋
 樽が橋

樽が橋
 樽が橋

樽が橋
 樽が橋

樽が橋
 樽が橋

樽が橋
 樽が橋

樽が橋
 樽が橋

樽が橋
 樽が橋

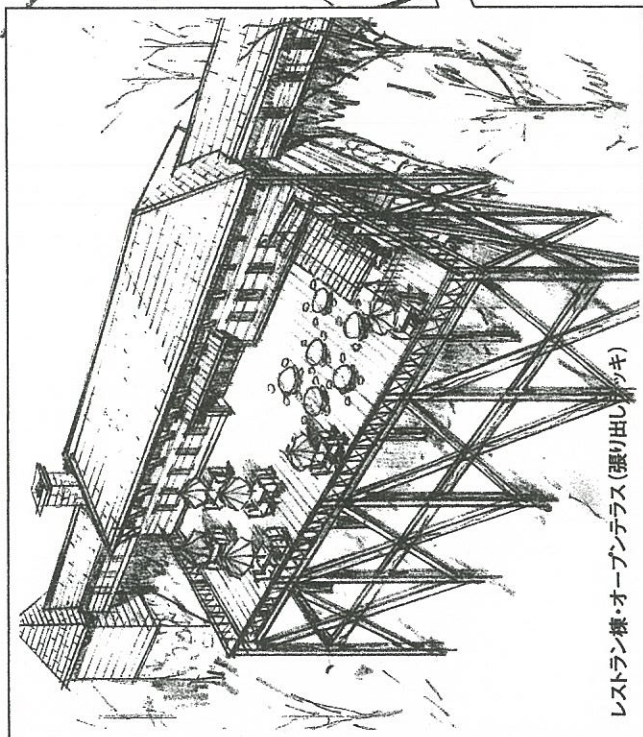
樽が橋
 樽が橋

樽が橋
 樽が橋

樽が橋
 樽が橋

樽が橋
 樽が橋

「交流センターに隣接する、レストラン棟、薫製小屋」プラン



レストラン棟・オープンテラス(張り出しデッキ)

地元食材を使ったオープンカフェ

交流センターを中心に上流側にレストラン・川側に張出しのオープンカフェテラスを構築し、軽食(米粉を使ったバスタ、薪石釜で焼いたトビガヤパン、体験農場で採れた野菜やフルーツ・乳製品等)を提供する。胎内川からの景色が楽しめる開放的なカフェにし、広いオープンテラスでは雰囲気にあったイベントを開催しても面白い。提供するものを軽食中心とすることで胎内のリゾートホテルや市街地との共存共栄を図る。

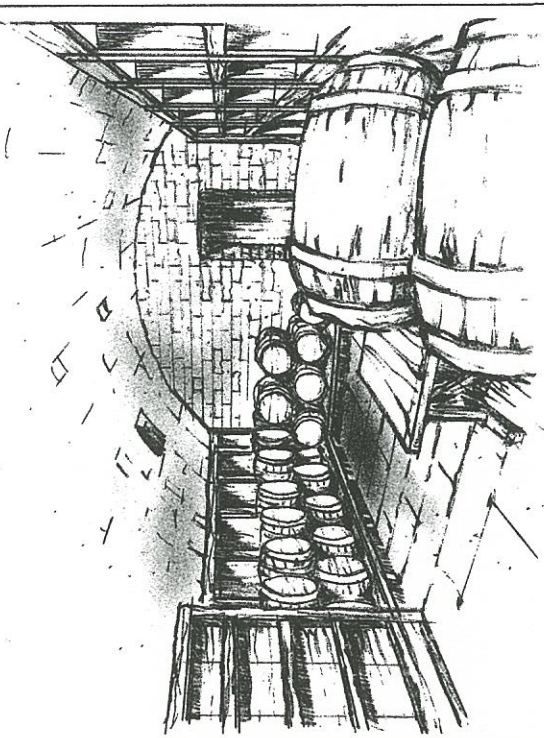
交流センター棟

レストラン棟

薫製小屋

(総入口)

地下貯蔵庫(カーヴ)



オーナー制でハム・チーズ・ワインづくりを体験。

レストラン棟に続いて、更に上流側に薪を使ったスモーカー(薫製小屋)、半地下の部分に貯蔵庫(カーヴ)を構築。雪室も造り、最適な熟成環境をつくる。訪れた人はハム・ベーコン・チーズ・ワインづくりが体験でき、作ったものを貯蔵庫・カーヴで熟成・保管。オーナーになって頂き、レストラン側でワイーを頂きながら大塚に管理する。オーナーになってもらうことでワイーターとなってくれることが期待出来る。

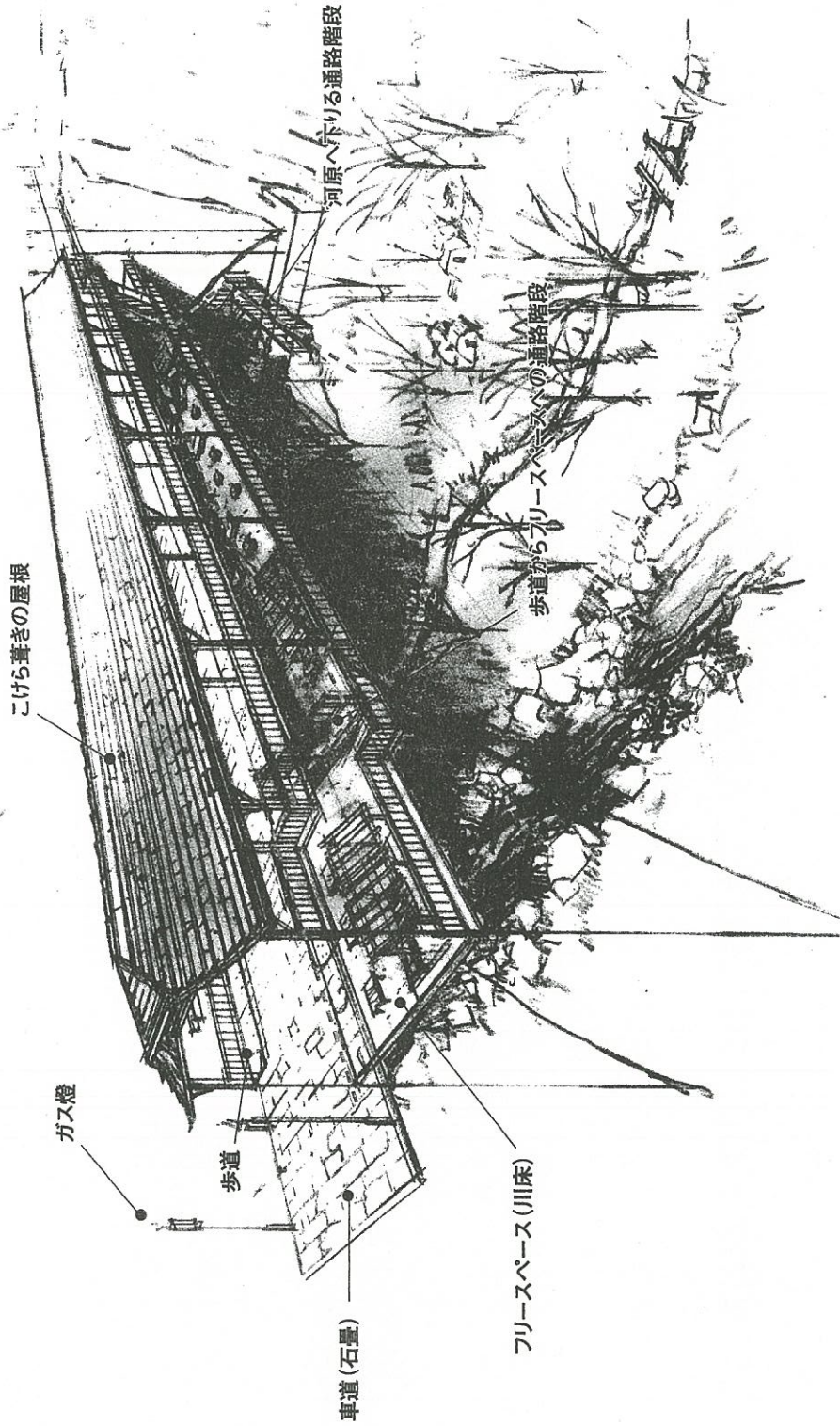
「樽が橋」整備プラン

屋根・フリースペース(川床)を設けて楽しめる場所へ

胎内の原点である清流・胎内川に架かる樽が橋。そこに屋根を架け、ガス灯・石油ランプで幻想的に整備し、シンボルとしたい。さらに橋の通路下に大きな広場(川床)を建設。休憩、飲食、景観を楽しむなどの他、多少の雨はしのげるので、イベント等、幅広い用途で利用可能なフリースペースとする。橋の歩道〜フリースペース〜河原の広場〜遊歩道へと回遊できるように繋ぎ一体感を出し、眼下を流れる原点・胎内川との親水性も高める。舗装は石畳とし、この先に続く、胎内観音への参道としたい。



参考資料:カベル橋(スイス)、シュプロイヤー橋(スイス)、頤和園(中国)



- ・胎内観音とのマッチング
- ・原点・胎内川との親水性
- ・非日常感・スリル・愉しさ
- ・目玉になる 注目度が高い
- ・賑わいの創出

